洲本地区だより No.33

平成 18 年 10 月 26 日
洋友会 洲本地区(事務所)
TEL&FAX 0799-23-9702
電話は火･木曜日午前中

歓迎！ 新しく2名の加入がありました。 (総会員数 ８１名)

大坂 博さん (最終職場：モバイルエナジーカンパニー ＮＰ推進部)

・1974 年途中入社して 32 年余りを勤務させて戴き、8 月 20 日で定年退職をしました。途中妻を亡くし、息子二人を育てながらの勤務でした。
・自宅の整理も疎かであったことから、現在退職したこの機会にリフォームのチャレンジと、これから最もやりたいことを検討しています。
・今後、洋友会の皆様に何かとお世話になりますが、ゴルフ等に参加させて戴き、色々な面でご指導戴きたいと思いますので、よろしくお願い致します。

松並 一正さん (最終職場：SEC 東浦株式会社 品質保証部)

・昭和 40 年 4 月に入社し、営業 10 年と製造を 31 年 5 ケ月勤務し、本年 8 月 20 日をもって退職を致しました。退職後は健康の為、毎日ウオーキングをしていましたが、最近では少し回数が減り、生活のバランスも変化してきています。
・今回、洋友会に加入させていただき、活動の幅を広げていきたいと思いますのでよろしくお願いします。

10 月1日、洲本地区のホームページを開設しました。

●本年の重要な活動方針である洲本地区・洋友会のホームページが、スタートしました。このホームページでは、活動の具体的計画や運営する役員の紹介、また、九つあるクラブ活動の実状を解説する一方、新たな希望者に対する入会の方法も述べられています。一方、外部とリンクして、島内の観光や市町村の活動もみることができます。
●会員相互のコミュニケーションが更に深まるよう、新しい情報の提供や投稿について、皆様の一層の参加と協力をお願い致します。
●ホームページアドレスは次の通りです。

http://www.sky.sannet.ne.jp/yoyu-sumoto/

平成 18 年度･忘年会のご案内

本年も余すところ、二ヶ月となりました。例年好評を得ている洲本地区･洋友会の忘年会を下記の通り行いますので、ふるってご参加ください。

●日 時： 12 月 15 日(金)
●場 所： 南あわじ市・国民休暇村
●費 用： 9000 円(食事と宿泊を含む) ＊宿泊をしない場合は 6000 円

＊参加については、10 月度送付資料に同封した申し込み書に記入の上、申し込みをして戴きますようお願いします。

三洋電機がんばれ！　私たちも支えよう！

●洲本地区･洋友会による SUPPORT SANYO(ｻﾎﾟｰﾄ･ｻﾝﾖｰ)運動の取り組みは、9 月末現在で、**参加率が 37.5%となり、金額は 3176 万円**に至りました。有難うございました。
●この運動は、三洋電機の早期業績回復を微力ながら、洋友会も応援していく事が目的であり、今回は金額に拘らず、参加率 100%を目標としています。
・まだ参加されていない方は、是非ともこの主旨を理解願い、引き続きご協力の程をお願いします。
●参考迄に、有れば便利だなあと言われる商品や、新たな対象品目を紹介します。
a. 夜中にトイレ等に行くときや、暗い場所を移動する時、人を検知して点灯します。
商品名：センサーライト
品　番：NL-L10(W)（充電式）　　希望価格：5,775 円
NL-L20(W)（乾電池式）　希望価格：4,200 円
b. そのほかには、三洋電機グループで取り扱っている保険や旅行、並びにサンネット回線の使用で支払う料金も参加の対象として含まれます。
c. また 9 月には、新たに、三洋グループのＯＢ団体扱いの自動車保険もこの対象品目となり加入の推薦がありました。（団体扱いで家族も 22.5%割引となる）
●購入結果は、下記の洲本地区･洋友会事務所へお知らせ下さい。
（Tel&Fax:0799-23-9702　E-mail: yoyu-sumoto@sky.sannet.ne.jp）

お願い

●「洲本地区だより」へのメッセージや投稿を受け付けております。
・家族の面白い出来事や自慢、或いは日常生活で得た感動経験等。
・笑顔の写真も添えて、お願いします。
●本部会報誌「洋友」への投稿をお願いします。
・テーマは地域のボランテイア活動や健康改善の工夫等
・文字数は 400-2000 字で、写真等の資料を添えて。
・パソコンで作成される場合は、フロッピーも添えて。

お知らせ

●洲本地区の事務所には下記の役員が詰めております。ご要望や相談のあるときはどうぞお越し下さい。（毎週火曜日と木曜日の午前中：Tel/Fax:0799-23-9702）

11/02	役員会	11/07	萩野･川野	11/09	金谷･原下	11/14	山口(正)･山口(喜)
11/16	青海･廣瀬	11/21	近藤･橋本	11/23	大西･橋本	11/28	小西･山崎
11/30	阿部･藤本	12/05	萩野･川野	12/07	役員会	12/12	山口(正)･山口(喜)
12/14	金谷･原下	12/19	近藤･橋本	12/21	青海･廣瀬	12/26	小西･山崎
12/28	阿部･藤本						

秋の、ボランテイア活動特集

■ のじぎく兵庫国体の推進に、協力しました。！

●この秋に行われた第６１回国民大会では、開催地である兵庫県が、初の天皇杯（男女総合優勝）と、皇后杯（女子総合優勝）を獲得致しました。

●そして、洲本市の文化体育館で行なわれた「成年女子九人制バレーボール大会（10/1-10/4）」では、第二日目に、常陸宮様が観覧され選手の活躍を激励されました。

●大会では、戦前の熱い期待に応えるべく、地元の声援をパワーに変えた兵庫県代表（富士通テン）が、晴れの優勝を飾りました。

＜優勝戦：兵庫県（富士通テン）対群馬県（群馬銀行）＞

●洲本地区・洋友会では、洲本市の公募に対し、早くからその運営にボランテイア活動で参加を申し入れ、協力をしました。洲本地区の会員６名が参加し、開催の１ケ月前から大会終了までの期間（9 月 13 日～10 月 4 日）を通じてお手伝いをしました。

具体的には、実施本部の会場施設班に所属して、開催前から「600 本の歓迎のぼり旗の組み立てや周辺地域への立てかけ、並びに花や植木のプランターを主たる道路沿いに配置する」等の作業を進めました。また、大会期間中は、会場内外の装飾品保守と、来場者や式典出演者（幼稚園児等）に対する案内等、場内整理の役割を担いました。

●洋友会のボランテイア・メンバーが、携わった仕事は、内外の来場者に対してよく目立つ歓迎装飾という作業であり、安全確保に関わる場内整理等大切な事でしたので、これらの協力に対し、大会本部から感謝の言葉を戴きました。

●また、三洋電機モバイルエナジーカンパニーの女子バレーボール部員もボランテイアとして協力しました。全国から来場のブロック代表 10 チームに対し、宿泊所から会場迄の同行案内や、カドニカホール等練習会場のお世話等で、積極的な活躍がありました。

＜洋友会メンバーを中心としたボランテイアグループ＞

●一方、期間中は、地元の一員として大会を盛り上げる為、地区会員が三々五々に会場に馳せ参じ、ボランテイア･メンバーへの励ましや、連日の白熱した試合に変わらぬ声援をおくりました。会員皆様の支援を有難うございました。

●なお、競技に先立ち、9 月 23 日には、炬火リレーが行なわれました。コースは炬口駐車場から市役所、文化体育館経由でスーパー･マルヨシ迄の 3.9Km。
・4 区間に分けた 1 区 12 人の伴走者が炬火を引き継ぎ、大会を盛り上げました。地区会員である山口正義さんも、最終区間の 500mを伴走しました。
・沿道での声援等、皆様の応援を有難うございました。

■ 洲本図書館の市民まつりに、ボランテイアで協力！

●「人と自然の豊かな調和をめざして」というスローガンのもとに、恒例の図書館市民祭りが、10 月 21 日(土)と 22 日(日)に洲本市立図書館で行われました。
・ この市民祭りでは、吹奏楽演奏、電子紙芝居、ちぎり絵展、いけばな展示、お話会、ＪＡＺＺ ＤＡＮＣＥやバイオマストーク並びに本のリサイクルフェアを含め、島内 35 団体の文化活動や作品展等多彩な行事が行われました。

●洲本地区･洋友会から、１６名がボランテイアとして参加しました。
・前日の会場設営(10/20)では、テントや机や椅子等を市内の小学校等から運搬し、図書館･構内での組み立てや配置等の作業を行いました。
・また本番の二日間は、来場者の多くが自転車なので、所定の場所が守られるよう終日出入り管理を行い、終了後は設営全体の撤収もすみやかに行いました。

＜図書館祭りに来館する市民の人達＞

●なお、本年は新たな目玉行事となる二つの講演がありました。
・ひとつは「岩田康郎と洲本の未来」と題したミニツアーを含む講演(21 日)で、淡路文化協会の会長である田村氏により行われました。
・その講演では、「元洲本町長で、洲本近代化の父と言われた岩田康郎は、旧洲本川の氾濫対策として、明治 35 年から 37 年にかけて河川付け替え工事を実施した人である。埋め立てられた旧河川に、現在のカネボウ洲本工場が進出して、その後の地域の発展に寄与した」と紹介されました。
・もうひとつは、今後百年の計を考えるべく「洲本市バイオマス･タウン構想」と題したお話(22 日)が、洲本市･農政課長の牧之瀬氏から行われました。

秋の伊勢志摩、一泊旅行を楽しんできました！

●平成 18 年度の最大行事である秋の一泊旅行を 10 月 5 日と 6 日に実施しました。参加者 25 名は　趣きのある雨の伊勢神宮をお参りして、日ごろの健康と安全に感謝をし、一方、日本の最先端にある自動車産業の見学と、本年で開催が最後になる鈴鹿サーキットレース場を訪れ、F-1 レース･フリー走行の豪快さを楽しみました。
　また、併せて宿泊した民宿では、めったにない解禁直後の伊勢海老に舌鼓を打つ等、貴重なグルメ旅行にもなりました。参加のみなさんから、有意義だったと多くの感想が寄せられました。

● 第一日目は、ホンダ技研の鈴鹿製作所を訪問しました。

ここでは、最初に有名なロボット・アシモの実演を堪能しました。その後約 400 メータにわたる、車の組立てラインを詳しく見学しました。

＜ホンダ技研のロボット･アシモ展示場にて＞

･私は、車の生産工程は、20 年前にダイハツで見学して以来です。小物の電池と違って、大型部品がこんなに立体的に正確に流れ、タクト(2 交代で 1000 台)/ライン)がとれるのはすごい。印象深かったのは、車体を空中にぶら下げてエンジンを下部から入れる工程だが、複数の作業者が取り付けた後、椅子に同時に座る事で、工程移動のセンサーとしていたことですね。(Y.K さん)

・なかなか面白かった。工程の最初に車体全部を塗装して、次にバラしてから、最後の工程でドッキングするという流れだが、「工程落ち」がないのか、有るとしたらどんなものか、知りたいね。(H.K さん)

・受け入れや見学説明が、女子社員で行われたのが良かった。天然ガスを使って電力を供給するシステムは、構成が複雑なのに、説明では事前に良く勉強しているなあと、感心しました。(Y.K さん)

●民宿では、新鮮な伊勢海老やひらめ等の刺身をタップリと賞味しました。

・民宿(＊)の料理は最高。新鮮でボリュームたっぷりで食べきれなくて感動しました。淡路の民宿よりもすごかったね　(T.Y さん)
・民宿の設備はもうひとつと思ったがやむを得ないかな？(H.K さん)
・解禁後の伊勢海老は、さすがにうまかった。ひらめと鯛の舟盛りは豪快!　(S.O さん)
＊http://www.toba-maruzen.co.jp/

●二日目は伊勢神宮を参拝し、午後はF1ﾚｰｽ･ﾌﾘｰ走行を楽しみました。

＜伊勢神宮･内宮前にて＞

・伊勢神宮は馴染み深いです。子供が小さい頃。又、パック旅行で。会社の課内旅行で。今回が4回目です。バスの車内で放映した「伊勢神宮の紹介ビデオ」が役に立ちよく判った。
・その中で、特に遷宮行事で行われる大木、一千本の伐採儀式があったが、次の機会はこれを是非とも見たいです。　(T.Y さん)

・F-1 レースの見学は、日常生活ではとても経験できないが、年齢がいっても、こうして体感できたのはとてもよかった。
・非日常生活の価値が高く、極上のプランだったと思う。多少ムリが伴うかもしれないが、これも団体だったからできたと思いますね。よかったです。　(Y.K さん)

編集後記：60 年ぶりの兵庫国体に洋友会がボランテイアとして協力でき、そして洲本市から喜ばれた事は地域の団体としても誇りです。こういった出会いは真に貴重なものでした。また、一泊旅行も含め今回の多くの記事には、会員の幅広い層から声が寄せられたので、6 ページ誌面となりました。ご協力を有難うございました。(編集子)